

## 先進市町との意見交換について

## 1 実施目的

「ごみゼロ社会実現プラン」のごみ減量化取組をより効果的・先進的に実施している県内市町とプラン推進委員会委員との意見交換の場を設定し、取組上の成果の共有、課題に対する協議（評価・検証）を行い、県内他市町へ取組の展開をはかる。

## 2 候補地選定先進取組（案）

家庭系生ごみ堆肥化（県モデル事業実施市町）

名張市・鳥羽市・大台町・紀宝町

平成 22 年度の県内ごみ組成分析調査でみると、家庭系ごみに占める生ごみの割合が重量比で 43.5%となっている。その発生・排出抑制・再資源化が大きな課題となっているため。

ごみ有料化導入（導入済市町）

桑名市・名張市・鳥羽市・志摩市・伊賀市・木曾岬町・南伊勢町

ごみ処理の有料化は、ごみの排出量に応じた負担の公平化、住民の意識改革につながることから、ごみの発生抑制等に有効な手段と考えられ、今後導入を検討する市町が増えることが想定されるため。

## 3 候補地（案） 『名張市』

名張市では、独自に「ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」を 2000 年（H12 年）に策定（現在は、第三次アクションプログラム（2010～2012）期間中）し総合的なごみ減量化に取り組んでいます。

県モデル事業についても、「レジ袋有料化（H20 年度）」「福祉・地域づくりと一体となったごみ収集システム等検討（H21 年度）」「生ごみの堆肥化（H22 年度）」を実施し、住民・NPO・事業者等と連携・協働した先駆的な取組を行っています。

また、その効果として、1 人 1 日あたりのごみ排出量の県内順位の推移を見ると H18 年度 22 位、H19 年度 21 位、H20 年度 12 位、H21 年度・H22 年度 5 位と着実に効果をあげています。

このように名張市では、さまざまな事業を行い、ごみの減量に取り組んできて成果もあげています。それぞれの事業での仕掛けや工夫、苦労したことを集約し、名張市で培ったノウハウを県内市町に紹介すれば、これから取り組もうとする市町にとって大いなる参考になるのではないかと考えられます。